



# 12月の漁況と海況 (内海側)

## ◎海況

1~2日に行った大阪湾の観測結果によると北東部では各層共14℃台、平年より1℃内外低目、一方西南部では平年並かやや低目に経過している。10~11日の播磨灘では南海域各層共13.6℃~14.7℃で前月より6℃内外と急激な水温低下を示した。又、17~18日の紀伊水道北部では沼島周辺の各層15℃台で平年並、その他の海域では各層13℃~14℃で平年より1℃~2℃低目に経過している。

## ◎漁況

(概況) 前月に引続き県下内海各地のノリ養殖は寒波来襲と共に空前の盛況を呈している。一方漁船漁業は今年に入って、特に本年は季節風の連吹が多く、従って出漁日数も前年にくらべて少い。又本年は夏場より県下全域にわたって低水温が持続し、急激な水温下降と相まって、回遊魚の外海逸脱も早く、ただ友ヶ嶋水道周辺に若干ハマチの滞溜がみられる程度で現在の主漁業はアナゴ延縄、タコ一本釣、小型底曳網などで主魚種もアナゴ、タコに支えられる程度で県下全域での漁船漁業は本格的な漁閑期に入った。ただ友ヶ嶋、沼島周辺の小ダイ釣は前月より好漁が持続し、1日1隻7~8キロ内外の釣獲が目立っている。

### (各地)

**岩屋** アナゴ延縄、1日1隻20キロ内外、キロ当たり(大)550円、(小)140円、21隻。タコ一本釣、1日1隻14~15キロ、キロ当たり300円15隻。メバル(赤)一本釣、1日1隻3キロ、キロ当たり900円20隻。イサリ、ナマコ1日1隻50キロ内外、キロ当たり(赤)700円(青)150円15隻。小型底曳1日1隻アナゴ50~70キロ、キロ当たり150~200円。

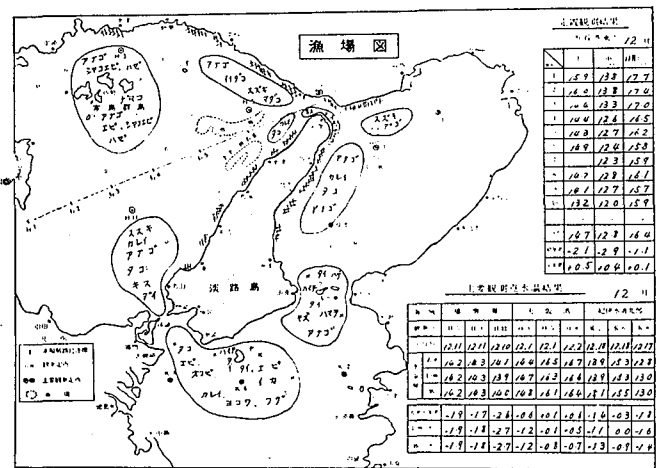
**由良** アナゴ延縄1日1隻40~50キロ、キロ当たり(大)400円86隻。小ダイ一本釣、10~15尾目廻り400~800g、K当り2,800円80隻。ハマチ一本釣10~15尾目廻り1.3~1.5キロ1尾600円80隻。キス一本釣1日1隻8キロ内外、キロ当たり800円、キス延縄1日1隻20キロ内外。

**沼島** 小型底曳1日1隻エビ1.5~2キロ、キロ当たり670~680円、エソ30キロ内外、キロ当たり100円、イカ25~30キロ、キロ当たり230~340円、アナゴ10キロ内外、キロ当たり230~240円、スズキ7~8キロ、キロ当たり500円、キス15キロ内外、キロ当たり(大)270円。フグ延縄1日1隻30キロ内外、キロ当たり(大)2,100円(小)1,600円。タイ一本釣1日1隻7~8キロ、キロ当たり(大)2,500円(中)1,700円(小)1,000円、50~60度操業。

**福良** タコ一本釣1日1隻30~40キロ、キロ当たり200円、40~50隻。小型底曳1日1隻カレイ類20キロ内外、キロ当たり400~500円、オコゼ2~3キロ、キロ当たり1,400~1,500円、イカ、タコ40~50キロ、キロ当たり200円、50隻。エビ罾1日1隻シラサ1~1.5キロ、キロ当たり2,700円、カワツ1キロ、キロ当たり1,100円、雑エビ3キロ、キロ当たり450円。フグ延縄1日1隻2~3キロ、キロ当たり2,000円。

## ◎今後の見込

今年のカナゴ産卵盛期は本月中旬~下旬の間に行なわれる見込をたてているが、現在のところ、水温、塩素量などの各条件が比較的整っているため来月初旬の稚魚発生に期待が持てるだろう。



**MARINE DIESEL** いつも漁場に一番のり

- 主機用 4~1000馬力
- 補機用 8~3000馬力

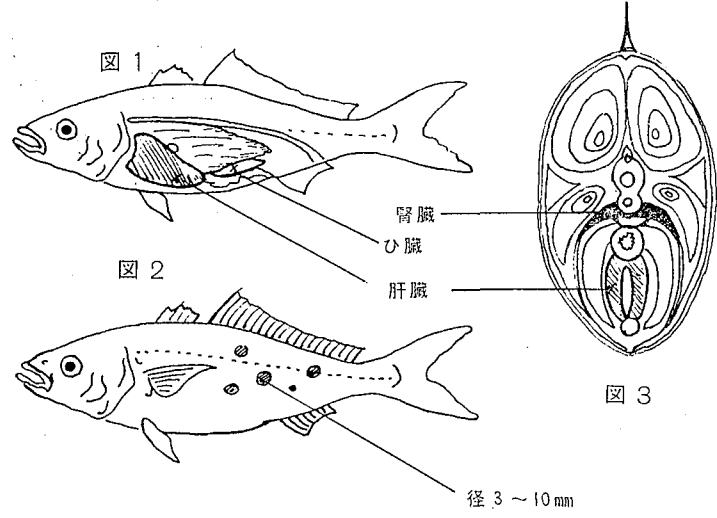
●3JE形/30馬力

**ノボク マリンディーゼル**

## 魚病あれこれ(その5)

(新しい二三の病気)  
 年も改まり、本年も新たな事業の抱負を決定されたことと思えます。  
 今月は最近の魚病について、本県ですでに発生した病気を、今後発生が予想される病気について述べて見よう。  
 (一)類結節症  
 他県では六月頃より発生していたが、本県では七月中の水温20~25度、二二度において発生した病気である。  
 本病は夏の高水温期以降には発生していない。  
 本症状の特徴は魚の腹部力が急に低下し、斃死する外見上は何ら異常を認められないが、内臓器等、特に、じん臓に白色斑点が認められる(図1、2)。  
 本病の治療対策としては、官に斑点が認められる場合もある。斑点が顕著に見られると餌餌せず、二~三日で斃死する。  
 本県での発生時期が梅雨期後の水温上昇期に発生したから、魚体の衰弱も一番悪い時期に重なり、被害を大きくしたようである。  
 じん臓、ひ臓の白色斑点の病変部から微生物を分離し、それを健康な魚に感染実験を行なうと、同一の症状は示しにくい、微生物の回収は出来た。  
 しかし、本病の原因追究は従来の微生物の感染実験とは異なっていた。  
 これは微生物そのものの影響か、微生物単独でなく他の原因との合併症として起るのか、疑問な点が多く、今後追究する必要がある。  
 本病の治療対策としては、サルーア剤が有効で、投与量も処方に従って、二~三日連続投与すれば、軽症の場合には治癒出来る。  
 しかし、本症状は一週間以上経過すれば再発する可能性がある。従って、薬剤の投与を行なっているからと安心せずに、魚の腹部力に充分注意して欲しい。  
 たゞ、魚の腹部力が落ちた場合には早速、魚を解剖し、肝臓、ひ臓、じん臓に白色斑点が出ていないかどうかを確かめることが大切である。  
 本病は本県でまだ発生を見ていないが、他県では発生している魚病の一つである。  
 本症状の特徴は体表にイボ状の突起が出てこれが吾々人間の場合と同様化膿して、そこから「ウミ」となっている(図3)。  
 内臓は前述の場合と同様じん臓、ひ臓に白色斑点が現われる。

この病気に魚が感染しても一度に多量斃死することはない、徐々に衰弱し毎日斃死を続けることが特徴である。  
 治療策は現在の所、特効薬もなく、予防処置としては健康な魚への感染を防ぐため感染魚は隔離が大切である。  
 さらに斃死魚体は出来るだけ海面に棄てずに、一ヶ所に陸揚して焼却処分することが大切である。  
 今後も種々の新しい病気が次々と発生する危険に絶えずさらされている現状にある。若し異常が認められれば早期に予防対策を立て、養魚事業が企業としての安定化に努力して欲しい。  
 (水試片嶋)



### 乱獲の徴候

漁業はいろいろな方法で天然の水産資源をとっている。即ち天然資源を人為的に開いていることになるが、この開引量が自然増加量を上回ると資源量は次第に減少する。このような漁獲状況になると乱獲となる。  
 乱獲になると資源の個体の体長、体重、年齢などの組成、漁況などに種々の徴候があらわれる。  
 その主なものをあげると次のようになる。  
 (1)、漁獲努力が強められても漁獲量は低下する。  
 (2)、単位漁獲努力当り(例えば、一回の曳網の漁獲量)の漁獲量が次第に減少する。  
 (3)、高年魚(大型の魚)のとれる割合が減少し低年魚(若い小型の魚)が増加し、全体的な平均体長、平均体重が低くなる。  
 (4)、産卵魚が青年化する傾向がある。  
 (5)、年級別の個体の型が大型化する。  
 (6)、資源の減少係数および減少率はだんだん大きくなる。  
 (7)、単位漁獲量の変動が大きくなる。  
 (7)

### Z-3型 待望の魚探機誕生

皆様の漁業を御約束する  
 小型から中型までの万能魚探  
 MODEL-Z-3 I A, B, C, D  
 MODEL-Z-3 II A, B, C, D  
 二周波魚探も出来ず

**海上電機株式会社**

本社 神戸市東灘区山手町3-2 電話 294-7611  
 支店 神戸市東灘区山手町3-2 電話 294-7611  
 支店 神戸市東灘区山手町3-2 電話 294-7611

# 今年のノリ

豊作が期待

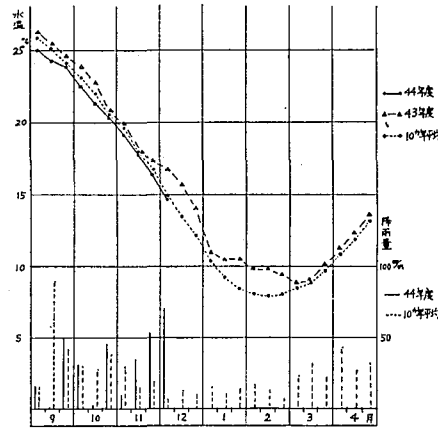
県内ではすでに種約十  
万枚が冷蔵されており、十  
一月末頃から海況が好転し  
はじめたので速次沖へ張り  
出している。

本年度のノリ養殖枚数は、中旬に約二万二千枚採苗  
約七万五千冊で昨年のほぼ  
二倍に増加した。特に浮流  
し養殖の伸びが大きく、総  
冊数の九割を占めている。  
地網の採苗は十月上旬に  
約五万五千枚が種付けされ  
各地とも芽付きは良好で  
あった。明石・淡路では本  
年始めて大風機(約一万五  
千枚)に浮流し採苗が行な  
われたが、芽付きもその後  
殖網は十月末から十一月上  
旬にかけて、愛知・熊本・  
徳島・三重等から約四万四  
千枚の網が移殖された。し  
かし本年から業者は芽付き  
の不安定な移殖網より地網  
に重点をおくようになった。  
二次芽採苗は十一月上  
旬に重なるが大きいようで  
ある。

今年の海水温(毎早均値  
・明石)は夏以来現在まで  
低目で経過した。しかし九  
月から十月上旬までは降  
雨量が昨年よりも少なく  
平穏な日が多く、一時水温  
低下が際立つこともあっ  
た。十一月中旬以降は数日  
間雨で降雨があり、平年に  
比へかなり降雨量を記録  
した。また、雨天のあとは  
必ず二三日季節風が強く  
吹いている。このため波  
立ちは良く、気温も低目  
で推移している。気象予  
報の長期予報によれば、今  
年の冬は寒く春の訪れは遅  
いという。これはノリ養殖  
にとって好条件である。良  
い種網を確保している浜は  
豊作が期待できている。

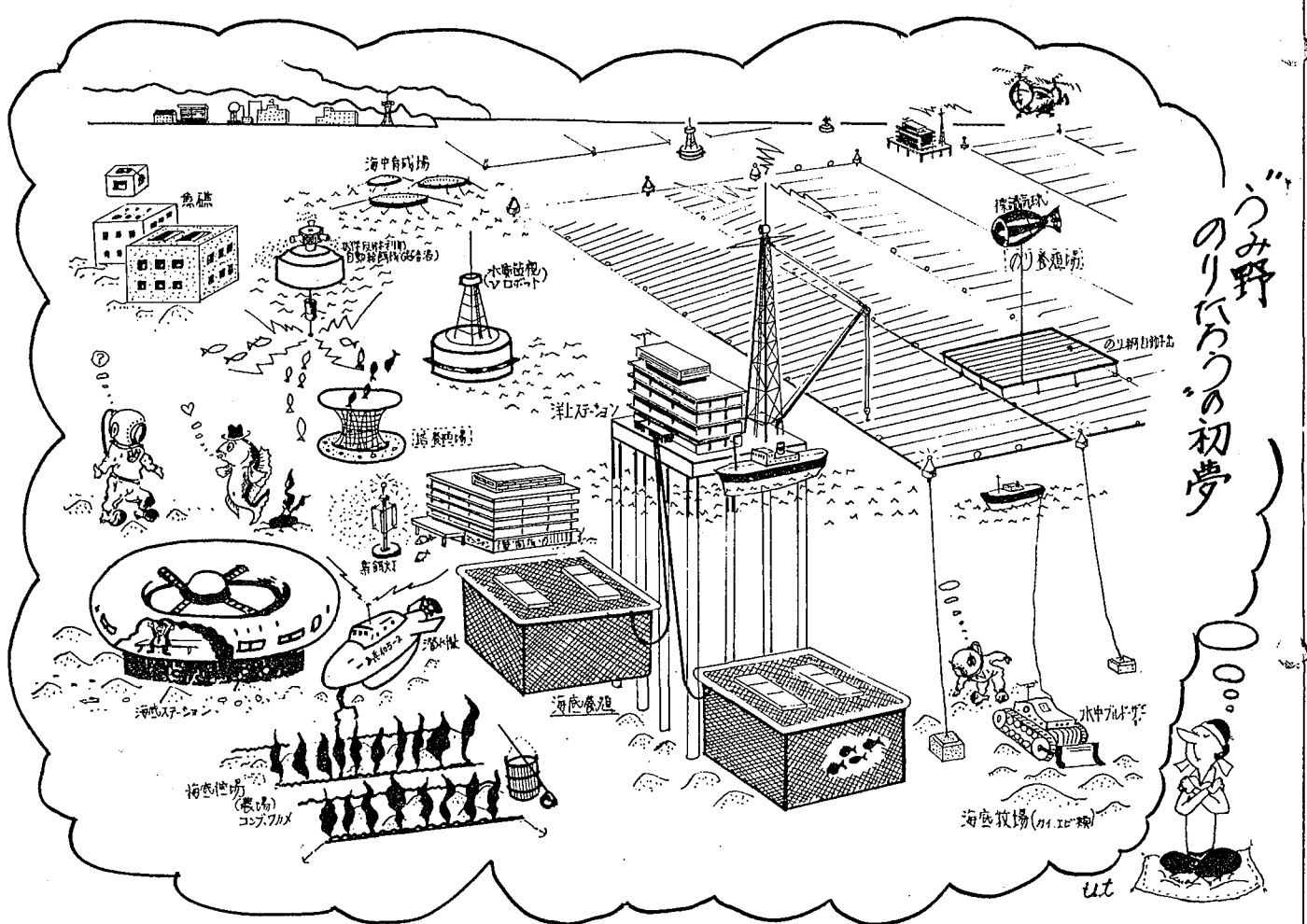
## のり漁場の愛称決る

明石四ヶ浦漁業協同組合は、全国各地から一四四四  
では、明石市、神戸新聞社  
の後援を得てのり漁場の愛  
称を募集していたが、この  
ほど審査会を開き、漁場造  
成工事竣工式で、入選作、  
佳作の発表会を行った。



ノリ養殖期中の水温変化と降水量 (明石、水試定地観測)

明石市 角中長太郎  
佳作 (賞金各二千元)  
「明石子牛線ののり漁場」  
「明石海峡ノリ漁場」  
「明石ノリセンター」  
「新明石の養殖場」  
「明石のり園」  
「明石のり園」  
「明石市、小林幸子ほか四  
名」



つみ野  
のり漁場の初夢

**YANMAR DIESEL ENGINE**

● 漁場と市場を結ぶ！

〈新製品〉

● PM形 / 3馬力~4馬力

● T形 / 10馬力~20馬力

● 船主機用 3~800馬力

**ヤンマーディーゼル**

ヤンマーディーゼル株式会社 / <本社>大阪市北区茶屋町6番地

繁栄をささえるクレモナ

**カラレビニロン**

**クレモナ**

収獲増大と作業の能率向上をモットーにすぐれた耐久力で勝負しています

漁網・海苔網・ロープ

倉敷レイヨン株式会社  
大阪市北区梅田8 / 東京都中央区日本橋通3の1

● ますます好評の「鮮魚市況速報」  
毎朝7時45分から8時まで・日本放送放送

